

令和元年度 施策評価表

施策	2201	健全な財政運営の推進	施策担当部等	財政部	部長	楠本 勝典
			施策担当課等	財政課	課長	大渡 啓史
施策の方針	効率的な財政運営を行うとともに、収納率の向上や使用料の適正化、未利用公有地の売却等による自主財源の確保に努める。また、企業会計等の効率的運営に取り組む。					

【DO（実施）】 基本計画における目標値

指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	R1目標値	R2目標値	H30年度	
			H28実績値	H29実績値	H30実績値	R1実績値	R2実績値	達成率	進捗率
① 経常収支比率	%	92.0	92.0	91.5	91.0	90.5	90.0	93.7%	92.7%
② 市税収納率	%	95.1	96.3	96.5	96.7	96.9	97.0	100.9%	100.6%
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明

経常収支比率については、計算式の分母となる経常一般財源のうち市税が増加したものの、分子となる経常一般財源充当額のうち扶助費及び補助費等が経年的に増加傾向にあることに加え、デジタル防災行政同報系無線整備事業の元金償還（250,771千円）の純増、及び中学校給食センター供用開始に伴う物件費の増（91,745千円）等の影響により、前年度から3.4ポイント悪化となったため、目標値を大きく下回ることとなった。

市税の納付率については、自主納付の推進や滞納整理の強化に取り組んできた結果、現年課税分の収納率は0.03ポイント向上した。また、滞納繰越分においても0.47ポイント向上したため、合計では目標値を0.9ポイント上回り、目標達成率も前年度から0.2ポイント上昇した。

施策経費

(単位:千円)		H30年度 決算	R1年度 予算	R2年度 見込	特記事項
内訳	事業費	96,030,408	126,227,192	127,330,275	
	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	2,888	5,590	5,590	
	一般財源	96,027,520	126,221,602	127,324,685	
人件費	980,530	936,630	-		
フルコスト	97,010,938	127,163,822	-		

施策の概要

220101	効率的な財政運営	限られた財源の中で最大の効果を挙げていくために、事業の重点化や行政評価と予算の連動など、「選択と集中」により効率的な財政運営を目指します。また、毎年度公表している中期的な財政見通しを踏まえながら、持続可能で安定した財政基盤を維持します。
220102	自主財源の確保	税負担の公平化と税収の安定確保を図るため、適正かつ公平な課税を行います。また、自主納付の啓発を進めるとともに、「大村市債権管理条例」に基づき滞納整理を進め、収納率を向上させます。使用料については、受益者負担の原則に立ち、住民福祉との均衡を保ちながら適正化を図ります。
220103	未利用公有地の処分推進	自主財源を確保するため、具体的な利用計画がない公有地について、売却や貸付を進めます。
220104	企業会計の効率的運営	上下水道事業については、水道料金・下水道使用料の適正化や収納率の向上対策に取り組むとともに、維持管理の効率化によるコスト削減などに努め、将来にわたり持続可能な経営基盤を確立します。病院事業については、公設民営方式の指定管理者制度により、引き続き経営の安定化に取り組みます。
220105	モーターボート競走事業の安定経営	ビッグレースの誘致や場外発売場の新規開設、ナイターレースの導入等に取り組み、売上の拡大を図るとともに、効率的な事業運営により収益を向上させ、事業目的である市財政への更なる貢献を目指します。

【CHECK (評価) 施策担当部長】

施策を達成 する上での 問題点・課 題	経常収支比率については、昨年度の経常一般財源充当額の増加理由に加え、今年度からは、プラットおおむら及びミライON図書館の供用開始を迎えることに伴う物件費の増が見込まれることから、公債費における単年度支出の大きいものの繰上償還や経常経費全般についての見直しについて検討していく必要がある。
------------------------------	---

【CHECK (評価) 評価調整委員会】

--	--

【ACTION (改善・改革)】

問題点・課 題を踏ま えた施策 構成事 務事業 の改善 ・改革 や新規 事業に ついて の考え 方	大村市財政運営基本方針に示す3つの基本方針（安定した財源の確保、歳出の抑制と適正化、財政運営の透明性の確保）を柱として、これまでの財政健全化の成果を維持するとともに、財政適正化に向けた各種取り組みを推進していくことで、健全で持続可能な財政基盤を構築する。 そのために、中長期的な財政見通しに留意しながら、本市財政を取り巻く環境の変化にも柔軟に対応できるよう、安定した財政運営の継続に努める。
--	--

令和2年度新規事業

事業名（仮称）	担当課	R2年度見込	対象・事業概要など
		事業費（千円）	
1			
2			
3			
4			
5			
		0	